

フランス国労働省

ジャン＝アンリ・ピロネ労働省個人的／集团的労働問題担当局長 殿

拝啓

先般、在仏日本商工会議所を代表し、フランスにおけるビジネス環境に関して、私ども対仏進出日系企業の抱える課題や問題意識をまとめた要望書につきましては、既にビジネスフランス庁を通じてご高覧いただいていることと存じますが、特に弊会議所会員企業の関心が高い、「労働・雇用環境」について昨今、一部改訂いたしましたので、ここにあらためて提出申し上げます。

当商工会議所と致しましては、日仏両国政府に協力し、日系企業の対仏投資を促進することにより、更なる日仏経済発展を実現したいと考えております。

このペーパーは、労働・雇用、貿易自由化、輸出入規制、金融・税制・社会保障、治安・安全及び生活設営という大項目に従い、当商工会議所会員企業の声を取りまとめたものがあります。

当商工会議所は、対仏進出日系企業の抱えるこのような課題や問題意識をフランス労働省とも共有させていただき、今後とも継続的に、フランス政府や地方公共団体などの多くの関係者との間で、継続的に課題と問題意識の共有と相互理解の促進を図ってまいりたいと考えております。

本年6月24日には、ビジネス・フランス庁がご主催された「フォーラム・ジャポン」において、貴局のクレール・スコットン副局長にご登壇いただきましたことは、貴労働省がこのペーパーにご関心をお持ちいただいていることと、喜ばしく、この場を借りて篤く御礼申し上げます。

日系企業にとって、フランスは事業の基幹となりうる投資先であります事は言を俟ちません。フランスにおいて、日系企業により魅力的な投資環境が整備されていくことを願っております。

CCIJF メンバー企業へのお心配りに感謝しつつ。

敬具

CCIJF 会頭 中江剛介